

堤防閉め切り以降、有明海漁民の自殺・同未遂等事件リスト

有明海漁民・市民ネットワーク
2010年10月19日現在

事件発生年月日	県・所属漁協	年齢	事件の背景など
1999年1月～2月頃	福岡県柳川市 有明漁協	50歳前後	海苔漁業者。首吊りによる自殺。借金苦ではないと言われていた。
1999年前後の1月頃	福岡県柳川市 有明漁協	50代～60代	海苔漁業者。土手にて焼身自殺。原因は不明。
1999年3月	福岡県柳川市 大和漁協	62歳	海苔漁業者。首吊りによる自殺。故人は組合の中でも腕を買われていた存在だった。佐賀県に酸処理の指導にも行っていた。設備投資直後、漁業不振に陥る。諫早湾潮受堤防閉め切りの翌年より、今まで恵まれていたはずの沖漁場で早い時期から色落ちが始まる。故人はよく「諫早湾の中はもうヘドロみたいになっている。」と言っていたという。
2002年12月頃	福岡県・大牟田 周辺漁協	60代	潜水漁業者。諫早干拓工事以降の漁業不振により生活苦となり、島原沖で潜水道具の鐘を抱いて入水自殺を試みるが未遂に終わる。
2003年8月	福岡県みやま市 高田漁協	53歳	海苔漁業者。首吊りによる自殺。原因は定かではないが、借金だろうと言われていた。金銭面の心配を頻繁にしていたという。(04/5/28読売新聞・九州版掲載)
2003年10月下旬～11月の初め頃	福岡県柳川市 大和漁協	60代	海苔漁業者。海苔作業小屋で自分の腹を刺す。未遂。原因は定かではない。鬱病だったという。2003年は秋芽が採れず、冷凍入庫の時期(10月下旬～11月初)も、沖漁場では海苔が色落ちしかかっていた。(04/5/28読売新聞・九州版掲載)
2004年1月31日	佐賀県太良町 有明海漁協 大浦支所	65歳	潜水漁業者の妻。首吊りによる自殺。潮受け堤防閉め切り後、タイラギ漁は休漁を余儀なくされ他の網漁も著しく水揚げが減少し、生活は大変厳しい状態にあったという。
2004年2月21日	福岡県柳川市 有明漁協	45歳	海苔漁業者。承諾殺人。借金苦のため、母親と心中を試みるが、自身は未遂に終わる。潮受堤防閉め切り以降からの不作為に追撃をかけた2000年度の大凶作で、水揚げは以前の5分の1に落ち込む。設備投資した直後だった。周囲によると自身は真面目な性格で海苔漁のない夏場も工場などで働いていたという。2004年7月、福岡地裁・久留米支部は、懲役3年保護観察付き執行猶予5年(求刑懲役5年)を言い渡す。(04/2/22読売新聞・九州版04/7/9西日本新聞04/7/11サンデー毎日他掲載)
2004年4月24日	佐賀県太良町 有明海漁協 大浦支所	47歳	主にエビ網漁を行っていた。作業小屋にて首吊り自殺。全く水揚げが上がらない状況、一年を通じての著しい不漁が10年以上も続いていた。生活費、漁業のための設備投資などのために借金をしたものの、返済できず、気に病んでいたという。ここ数年は鬱状態が続いていた。(04/7/11サンデー毎日他掲載)
2004年5月上旬頃	福岡県みやま市 高田漁協	45歳	海苔漁業者の妻。首吊りによる自殺。原因は定かでない。鬱病だったとの噂もある。海苔漁期終了後の事件に、「海苔が普通に採れてさえいれば死ぬ事はなかったらう」という声も聞かれた。(04/5/28読売新聞・九州版掲載)
2004年12月	福岡県柳川市 中島漁協	50代前半	海苔漁業者。川端の共同使用の海苔荷上げ用クレーンで首を吊る。原因は定かではない。冷凍網の張り込み直後。当時、栄養塩が減り始め、海苔の色落ちが心配されていた頃だった。
2005年1月21日	長崎県島原市 有明漁協	45歳	漁船漁業者の妻。睡眠薬を大量に飲み、死亡。家庭内の問題では…、という声もある一方、「漁さえできていれば…」という声も周囲から聞かれた。
2005年1月24日	佐賀県太良町 有明海漁協 大浦支所	47歳前後	潜水漁業者。出稼ぎ先での潜水病による死亡。過労によるものと思われる。操業終了後、潜水病(潜水・高気圧症)の治療を受け、一時回復するも暫くして意識不明となり死亡。出稼ぎ先での労働は、地元での家族との操業と比べ、まわりとの競争もあり、大変に過酷だという。
2005年5月25日	福岡県柳川市 大和漁協	51歳	海苔漁業者。とても気の弱い性格で2000年の海苔不作の際も考え込んで眠れなかったこともあったという。時を同じくして糖尿病を発病。故人は原告ではなかったが佐賀地裁での傍聴・集会には積極的に顔を出していた。福岡高裁敗訴判決後、間もなくの事件である。
2005年8月17日	福岡県柳川市 中島漁協	50代後半	海苔漁業者。前の年から体の調子が優れなかった。原因は不明。車ごと川に転落。事故との見方もある一方、うっかり落ちてしまうような川ではないため自殺との見方もある。漁場の小間割りが始まるころだった。
2005年12月	福岡県大川市 周辺漁協	60代中頃	海苔漁業者。首吊りによる自殺。原因は不明。
2006年6月上旬	福岡県柳川市 有明漁協	58歳	海苔漁業者。午前中まで網の手入れなどの作業をしていたが、その午後もしくは夕方頃、首を吊り死亡。原因は不明。
2006年6月	福岡県柳川市 両開漁協	30代後半	海苔漁業者。自殺の手段や本人の様子、原因などは不明。
2007年3月	熊本県熊本市 畠口漁協	40代	海苔漁業者の妻。海苔小屋で首吊り自殺。2000万円の海苔乾燥機を買い替えたばかりだった。熊本地方の2006年度の水揚げは2000年度の大凶作に次ぐほどの不作だった。潮受堤防閉め切り以降は毎年水揚げが安定しないという。(07/8/2しんぶん赤旗掲載)
2008年1月28日	佐賀県太良町 有明海漁協 大浦支所	47歳	潜水漁業者。出稼ぎ先での潜水病による死亡。作業後、ゆっくり海底から上がるのが常だが、故人はこの日、40mの水深から一気に海上にあがったものと思われる。2007年度は出稼ぎ先も貝の量が少なく、少しでも多く…という焦りがあったに違いないと故人の潜水漁仲間話す。有明海の水深は出稼ぎ先の水深に比べ浅く潜水病になることはあまりないという。

21	2009年7月2日	長崎県島原市 元・有明漁協 (4～5年前に を辞めている)	54～55歳	従兄弟に雇われ漁船漁業を行っていた。首つりによる自殺。歩合制賃金のため水揚げをより上げなければ収入にならなかった。そのため腰を痛め体のきつさを周囲にもらしながらも、ろくに休むことなく働きつめていたという。「不漁さえなければ少しは休めただろうに…」と漁業仲間は話す。故人は、優しい性格で何事にも一所懸命になる性格だったという。以前は諫早干拓工事阻止行動に参加していた。
22	2009年7月9日前後	福岡県柳川市 中島漁協	35～36歳	海苔漁業者。海苔小屋にて首吊り自殺。原因は不明。来期の海苔の準備も進めており、前日も海苔研究会に出席するなど変わった様子はなかった。故人は、とてもおとなしい性格だった。以前は諫早干拓工事阻止行動に参加していた。
23	2009年6月30頃	佐賀県太良町 有明海漁協 大浦支所	72歳	潜水業者。首吊りによる自殺。故人はタイラギ漁による潜水をしていた時期もあったが主に港湾工事での潜水を仕事としていた。平成18年資金投入してアサリ養殖をするも失敗。その後家庭内の問題や自身の体調不良で気を病んでいた。息子に「死にたい」と口にするこももあった。組合に属するもあまり漁業に従事していなかったことから漁業被害による自殺と考えにくいとの声もある一方、補助の無い状態でアサリ養殖を再度始めるのは困難、タイラギが立てば漁が出来ただろう、仕事ができれば体調不良で気を病むこともなかっただろう…という声も聞かれた。